

ヤマハ音楽教室を 続けていてよかつた 20のこと

幼児科の2年間を修了した後の進路について詳しく知りたいというママたちの声をよく聞きます。幼児科の次は、2つのグループレッスンが用意されていますがその前に、このままヤマハ音楽教室を続けていくとどうなるの？どんなことがあるの？という「未来の姿」を実際に幼児科を卒業して上のコースに進んだ小学生やそのママたち、長く1つのクラスをみてきた先生たちに取材。きっとと明るい未来が見えてくるはず！

ADVISERS

お話を伺った
幼児科の卒業生と
ママたち

ジュニア専門コース専攻クラス一年
(中川先生クラス)



1.上田将範くん(高3)(右)、和範くん(高3)、淳子さん 2.藤田みつみちゃん(小4)、かおるさん 3.志藤小鞠ちゃん(小5)、美鈴さん 4.森花夢ちゃん(小5)、こずえさん 5.沼山小夏ちゃん(小6)、琴都さん 6.(後列右から)大谷栄利香さん、伊藤友紀さん、小池朝子さん、李儀萱さん、柴田知子さん、二宮由子さん 7.(後列右から)小池爽太郎くん(小2)、大谷美空ちゃん(小2)、滝澤亜依ちゃん(小3)、伊藤菜々美ちゃん(小2)、柴田茉莉花ちゃん(小2) 8.梅本幸子先生(愛知県第一楽器)、中川和美先生(北海道エルム楽器)



仲 間とステージに立つ、そんな経験はなかなかできないものです。ステージに立つことで、準備のために努力する大変さ、ステージにあがつたときの達成感、そして人前で演奏をしたり歌う喜びを知ります。今回お話を伺った卒業生のなかにも、芸能活動の道に進んでいた人がいました。

NUMBER.

2

ステージで演奏する喜びを知りました。

毎日の生活リズムがつきました。

NUMBER.

1



リズムも自然と整っていきます。小学校への移行もスムーズだった、というママたちの声も多数でした。

NUMBER.

4

自分から練習するようになりました。



練 習した?」という毎日の声掛けにうんざりしているママも多いことでしょう。児科のときから毎日練習する習慣がついていると、その後は自分からピアノやエレクトーンに向かう子どもが多いのです。「自分から何かをする」、このことは小学校に入つてからも、宿題をしたり、翌日の準備を自分からすることにつながります。

幼 児科で知り合った友達は大体近くに住んでいる幼稚園や保育園が同じとは限らないが違うからこそ、それぞれの違いについてや、友達について話

ができるたり…。
からの友達だから絆もとつても深いのです。社会人になつても、毎年アンサンブルの発表会に出るため、集まるという人も。

NUMBER.

3

音楽でつながった一生の友達ができました。



大 人になつてもアンサンブルのクラスを続けたり、中学・高校で吹奏楽部に入る卒業生つて多いのです。アンサンブルが楽しいと思えるのも、幼児科から仲間と一緒に弾いて歌っているから。息を合わせてつくりあげる喜びは、経験した人にしかわからない醍醐味。



親子で
楽しむ時間
もてました。

幼 児科は親子で参加する時間が基本。ママにとつても、週に1回、子どもと一緒に歌う時間は日頃のストレスの発散タイムになつています。幼稚科を卒業してから、「歌う時間が少なくなつて寂しい」という声もちらほら…。

NUMBER.
6 アンサンブルの
楽しさを知りました。

NUMBER.
5

「頑張る」力がつきました。

う まく弾けない曲を何度も練習する、発表会の曲の練習を本番まで何度も繰り返す…。時にはかんしゃくを起こしたり、泣きながら練習したといふ話も。でも、頑張つたら頑張つただけ、そこから得られるものも大きいのです。この「頑張る」力は一生の宝もの。

NUMBER.

9



ヤ マハの教材には、クラシックだけではなく、ポップスやラテンなどいろいろなジャンルの音楽の要素が詰まっています。それを通して、音楽の多様性を知り、それを楽しむ力が育まれています。

NUMBER.

7

沢山の音楽の
ジャンルを
知りました。



NUMBER.

8

一度聴いた
音を弾いて
遊べます。



樂 譜よりも、聴いた音で音楽を知るのが幼児科の特徴の1つ。CMで流れてきた曲をその場で弾いてみせたり、即興で曲を作つて兄弟で遊んだり…。これは「音感」が身につきはじめている証拠です。

NUMBER

10



こ

れは沢山のママたちから寄せられています。小学校に行くと、合唱や学芸会の伴奏など活躍の機会も増えます。「その姿が見たかったからヤマハに通わせた」という下心ありのママもいましたが、子どもの晴れ姿を見るのは、うれしいもの。本人にとつても、上手に弾ければ達成感や自信も得られます。

**自分の気持ちを
自分の曲で表現
できるように。**

幼

児科で培った「きく力」「感じる心」をベースに、

その先のコースでは音楽を「つくる」ことにも取り組んでいきます。楽器を弾くことだけではなく、音楽にはいろいろな可能性があります。うれしいとき悲しいとき、憂鬱なとき、切ないとき…。人間には感情があります。自分の気持ちを音楽で表現できるということは、万国共通のコミュニケーションツールをもてる、ということでもあります。

NUMBER

11



**学校で伴奏を
頼まれます。**

すます練習に励むようですし、それが技術面の向上にもつながります。

NUMBER

13

歌うことが大好きに。

歌

うことが大好きになるのも幼児科を経験した子どもの特徴です。楽器よりも

歌の方が好きで、「中学校では合唱部に入りたい」「将来は歌の道に進みたい」という卒業生も! 楽器にせよ歌にせよ、大人になつても変わらず音楽を楽しんでほしいというのはヤマハの願いもあります。

NUMBER

12

**自分に自信が
つきました!**



曲

が1曲弾けるようになります。歌が歌えるようになります。このことは音楽以外においても、この先、その子が自ら人生を歩んでいくためにとても大切なことです。

授業で手をあげて発表したり、学級会活動に参加したり、班のリーダーに立候補したり、合唱祭で指揮をしたり…。日々のレッスンや発表会など、ヤマハでの様々な経験を通して、人前で演奏したり歌うことになっているので、小学校に進んでも、人前で発表したり、まとめ役になることが苦にならない子が多いようです。

NUMBER.

14



自分の「得意なもの」に出会うことができました。

ま

だまだ幼稚園のうちは、その子にとつて何が得意かなんて、ママにも本人にもわからないもの。でも小学校に入ると「私ってもしかしてエレクトーン上手かも?」「歌がうまいかも?」って気がつくみたいですね。勉強以外で自分が「得意」といえるものがあるって素敵。その自信が他のことに取り組むときの原動力にも。

NUMBER.

15

学校で積極的になりました。



やめたい」「もうイヤ」って何度も言いました、と多くのママたちが語ります。「やめたい」理由はたくさんあります。でもママたちが口をそろえていうのは、「できない」、「練習が大変」といった理由でやめていたら、きっと本人が一番後悔していたはず、というこ^と。つらい時があつても続けてきたからこそ今のことがあります。

NUMBER.

17

継続することの大切さを知りました。

こ

れはヤマハのカリキュラムのなせる技。音楽を耳で聴いて覚えることで音感が培われるので、メロディーを聴くと自然にそれにふさわしい伴奏をつけられるようになります。これって実はとてもすごいこと。

NUMBER.
16

メロディーに伴奏をつけられます。

NUMBER.

19

思いやりの
ある子に
育ちました。

グ ループレッスンでは、自分と違った意見や考え方、感じ方を受けとめたり、自分の思いを友達に伝えたりする経験を重ねます。そういった経験から、相手の個性や創造性を大切にしたり、相手を思いやつたりする心が育ちます。

小 学校の友達には相談できないことでも、幼稚科からの友達になら相談できたり…。子どもにとつて小学校と家庭のほかにも、自分の「居場所」をもつていることは、息抜きの場にもなるので大事です。

so happy!!

NUMBER.

18

ずっと
続けられる
趣味が
できました。

ヤ マハで身につけた音感は、目には見えないけれど一生もの。受験などで中断することがあつても、少し練習すればまた感覚を取り戻して楽しめます。ずっと音楽を楽しむ暮らしを、と願うママも多いのです。

NUMBER.

20

学校以外に
友達が
できました。



幼児科のその後はどうなるの？

小学生以降の進級コース

幼児科修了後、小学校以降のヤマハ音楽教室には以下のようなコースがあります。下記のコース以外に、ピアノジュニア（個人）、エレクトーンジュニア（グループまたは個人）への進級も可能です。

小学生	中学生
-----	-----

ジュニア科

「自分でやってみたい！」という意欲をバネに、自ら音楽を楽しむための基礎力を確実に身につけます。かんたんなメロディーに和音をつけたり、譜面から音を想像して弾けるようになります。

ジュニア上級科

ゆとりを持たせたカリキュラムで無理なく力を伸ばします。子どもたち同士の意見交換はますます活発に。演奏のテクニックだけでなく、人の意見に耳を傾け、それを実践で見くわしくなります。

アンサンブルクルーズ

アンサンブルの楽しさ・達成感を体感する一方、さまざまなスタイルやジャンルの音楽を通しパートリー演奏・ソルフェージュ・ハーモニーなど音楽的要素をバランス良く学びます。

アンサンブルゼミ

ボビュラー音楽やクラシック音楽に幅広く触れ、イベントなどの参加を通して仲間と一緒に音楽を創り上げる喜びを感じます。

グ ループレッスン

幼児科

どちらかを選択します。

ジュニア専門コース
(J専)

創作と即興演奏を取り組みます。グループではいろいろなジャンルのアンサンブルにチャレンジすることによって楽器の音色や構成感を学び、アレンジもできるようになります。

ジュニア専門コース
ハイクラス

子どもたちの学習意欲が高まるこの時期。さまざまな音楽を体験するグループレッスンと一緒に対応できる個人レッスンを併用することで、表現力と演奏力を身につけています。

ジュニア専門コース
専攻クラス

歌の呼吸を合わせる大切さを感じたり、仲間同士お互いの演奏を聴き合い、またアンサンブルをしながら、いろいろな音楽を感じ取ることができます。

ジュニア専門コース
研究クラス

個性や音楽的志向性がはっきりしてきた子どもたちが、それぞれ助け合い、刺激し合いながら高い次元で音楽を理解し、さらに自立していくことを目指します。

グ ループレッスンと
個人レッスン併用